

150年を迎えた我が国の「海の地図」



開催日時：2021年11月27日 土曜日
10時00分～17時00分

会場：ゼンリンミュージアム 多目的展示室

〒803-0812 福岡県北九州市小倉北区室町1丁目1-1
リバーオーク北九州14F

- ワークショップ (海図の読み方・使い方の実践) 実践講座

10:00～11:30

実際の「海図」を使った読図、航路のルーティング、計測をおこないます。

- シンポジウム 『海の地図150年の歩みと今後の展望』シンポジウム
(LIVE リモート配信予定/G空間Expo2021参加シンポジウム) 12:30～16:05

幕末期の英国による日本近海の海図から明治初期の兵部省水路寮による我が国第一号海図製作から、大正・昭和の海軍水路部、戦後の海上保安庁水路部・海洋情報部による「海図」の歴史を日本地図学会会員でもある元海上保安庁で海図製作に携わった専門家がパネラーになって150年間の我が国の海の地図の歴史を紹介します。

- 展示ツアーガイド 大航海時代の海図～近代海図の誕生と伊能図

16:15～17:00

ゼンリンミュージアムに所蔵・展示されている歴史的大航海時代の海図
特別展「近代海図の誕生と伊能図」を海図担当者、ミュージアムZキュレーター
がご案内します。

* 本シンポジウムはリモートでライブ中継・実施いたします。

申し込みは裏面のQRコードからお申し込みください。無料

別途 11月26日（金）午後1時から4時30分まで

リアル 関門海峡の海の関連施設見学会の開催します。

見学先：関門海峡海上交通センター（第7管区海上保安本部）、測量船
11月26日 午後1時30分 門司駅改札集合（15名限定）・要交通費

関門海峡海上交通センター、第七管区所属 测量船「はやしお」を見学します。

* 参加希望者は裏面・申込み/問い合わせ先まで・・・



ゼンリンミュージアムのあるリバーオーク



測量船「はやしお」



日本地図学会

- ワークショップ (海図の読み方・使い方) 実践講座 10:00~11:30

海図ワークショップの内容

実際に海図を作成する編集者や海事関係者が海図を使ったチャートワークや海の地理学習に役立つ海図の利用法について易しく解説し実際に本物の海図を使って作業体験します。

- シンポジウム 『海の地図150年の歩みと今後の展望』 12:30~16:05

シンポジウムの概要：

我が国の海図の歴史を海図の製作に携わり、また研究を行ってきた方から江戸末期の海図、明治・大正・昭和の旧海軍時代の海図、そして戦後の海上保安庁による現代海図の歴史を辿ります。コメントでは海図の利用者の声、教育分野での利活用など新しい展開を探ります。

シンポジスト：

八島 邦夫・菊池 真一・今井 健三・上田 秀敏

コメンテーター/ゲスト (現地・リモート)	高橋 洋子 (文科省) 海洋教育 松本 浩文 (水産大学校) 航海学 堀 信之 (元広島大学) 海洋調査 ほか
--------------------------	---

その他(リモート)「私と海の地図」と題して4-5人海事関係者、研究者、
海図愛好家など数名のコメントをいただきます。

- 展示ツアーガイド 大航海時代の海図 - 近代海図の誕生と伊能図 -

16:15~17:00

視聴の申し込み方法 シンポジウムのリモート(無料) 関門海峡 海の地図 巡検(要交通費)
Peatix チケットサイトでお申し込みください。 海峡航行参考図

<https://onl.tw/EM6nqk3>

<https://bit.ly/3qcMBIG>

参加申し込み・問い合わせ先：

日本地図学会 企画・集会委員会

太田 弘(常任委員)

メール：mapota@keio.jp

携帯電話：080-3343-4565



ファン・デル・カペレン海峡図
(シーポルト『日本』所収)



関門海峡、海上交通センター
(第7管区海上保安本部)